

鹿市医郷壇



(492)

樋口 一風 選

兼題「歌(うた)」

天

紫南支部 二軒茶屋電停

鼻歌が女房ん機嫌のバロメータ
(唱) 音調ん良日は家族中も楽し
(評) 奥さんの御機嫌の良い時は、台所で野菜を刻む時のリズムが違います。包丁も鼻歌のリズムにのって誠に軽やかです。何があつたのでしょうか、楽しい一日になりそうです。原句は「機嫌」になっていましたが、鹿児島弁では「機嫌」と言います。下五の「バロメータ」が効いています。

地

上町支部 吉野なでしこ

見た目よか歌とちよつ歌で歳しや分つ
(唱) 若作りいじやる古いとが十八番
(評) 何時もしゃんとした立ち居振る舞いに、見たためには若く見えますがカラオケで歌うのは何時も古い歌ばかりで、こんな人は結構な歳なのだと、年齢がバレてしまいました。若い頃、覚えた歌は不思議と忘れていません、この方も今どきの歌はうるさいだけで、情緒が無いような気がするのでしょうか。白い花の咲く頃とか、昔のラジオ歌謡は良かった。

人

伊敷支部 谷山五郎猫

半世紀歌と続けちよつ君だけを
(唱) 西郷輝彦ん真似で女房て捧げつ
(評) ネットで調べてみたら「君だけを」歌っているのは西郷輝彦でした。歌詞はうる覚えですが、想像するにこの句は愛するの君だけだと、奥様に捧げる歌であると考えます。少し意味の理解に苦しみましたが、多分お惚気かなと勝手に理解しました。ご馳走さまです。
原句は「君だけを」と括弧で括ってあ

りました。最近、括弧を付けたサラリーマン川柳もあります、短詩には「ー」や「ー」、「ー」は、使われない方が良いと思います。

五客一席 清滝支部 鮫島爺児医
子守歌親も一緒に眠びけなつ
(唱) 欠伸だらだら狂るでた音調

五客二席 霧島 木林
密つ避けつドライブがてれ歌ん稽古
(唱) 笑る人も居らじ大声を出せつ

五客三席 印南 本作
文化祭あん娘い届けラブソング
(唱) 熱か思ゆばメロデい乗せつ

五客四席 醤油屋孫一
良か歌い暮らしの憂さも癒されつ
(唱) 心い響つ歌手ん歌声

五客五席 清滝支部 鮫島爺児医
卒業式別れん歌が誘そ涙
(唱) 参列者ずい貰れ泣くさせつ

秀逸

清滝支部 鮫島爺児医

万葉集昔の人も歌が好つ
三歳児も誕生祝い歌と出せつ
幼稚園昼寝ん時きな歌で寝つ
坊さんの長か説教は子守唄
校歌をば涙で歌とた甲子園

上町支部 吉野なでしこ

ハミングでマイクも持てんコロナ騒動
伊敷支部 谷山五郎猫
西駅裏で音調ん狂るた歌を聞つ
茶碗蒸す面白と歌とた故郷ん歌

印南 本作

プロン歌て涙を出せつ聞つ惚れつ
醤油屋孫一
ルンルンの運転い話は丸で歌
上手下手も気持ち正直き歌い出つ

薩摩郷句鑑賞 133

薩摩狂句一〇〇年 三條風雲児著

人て見せん涙は台所へ走い込つ 上山 天洲
舅か姑に何か言われたのか、亭主との間に何かあつたのか、つい涙が出たのであろう。
しかし、相手なり、周りの人にその涙を見せたくなかつたので、台所に走り込んだのである。

嫁いびりなどということとは、めつたに耳にしないし、この頃の嫁さんたちは、涙を流しながらでも、言うべきことを言う世の中。気丈だが、人の涙を見せないで、台所で泣く嫁さんは珍しいのかも知れない。

討死んのした奴が払るた三次会

中間 紫麓

「討死んのした」というのは、酒をのんで酔いつぶれたということである。
仲間と一緒に三次会に行ったのは良かったのだが、そこで酔いつぶれたということ

薩摩郷句募集

新年号

題吟 「お年玉(おとしだま)」

締切 令和2年12月4日(金)

2号

題吟 「仮病(けびよ)」

締切 令和3年1月8日(金)

選者 樋口 一風

漢字のわからない時は、カナで書いて応募くだされば選者が適宜漢字をあててくださいます。

応募先 〒八九二・〇八四六

鹿児島市加治屋町三番十号

鹿児島市医師会「鹿児島市医報」編集係

TEL 〇九九・二二六・三七三七

FAX 〇九九・二二五・六〇九九

E-mail : ihou@city.kagoshima.med.or.jp